

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	5 月 中		5 月 末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	8	+2	1.00	44	+5	1.00
	30日死者	4	-2	0.50	14	-3	0.32
	30日以内死者	12	±0	1.50	58	+2	1.32

○ 全国

死者	区分	4 月 中		4 月 末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	196	+12	1.00	778	-19	1.00
	30日死者	37	-8	0.19	162	-8	0.21
	30日以内死者	233	+4	1.19	940	-27	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

5月末の県下の「30日死者」は14人（-3人）、「24時間死者」は44人（+5人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は58人（+2人）であり、「24時間死者」の1.32倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神6人（42.9%）、西播3人（21.4%）、神戸2人（14.3%）、高速2人（14.3%）、東播1人（7.1%）で発生している。
- 状態別 歩行中5人（50.0%）、自動車乗車中2人（20.0%）、自転車乗用中2人（20.0%）、自動二輪乗車中1人（10.0%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が8人（80.0%）、25~64歳が2人（20.0%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が7人（70.0%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が7人で、70.0%となっている。